

AED の日頃の点検

いざという時に AED がきちんと使用できるように日頃から点検することをお勧めします。AED の日常点検の基本はインジケータの確認と消耗品の交換期限の確認です。



インジケータの確認

AED には、正常に動くかどうかを示すためのインジケータが付いています。日常点検する際には、インジケータの表示を確認し、記録しておきましょう。

インジケータの表示例

(AED 機種により表示方法が異なるため、取扱説明書等でご確認ください。)

 [日本光電工業社]	<p>正常状態</p>  [緑を 表示している]	<p>異常あり</p>  [赤が 表示される]	 [フィジ オントロール社]	<p>正常状態</p>  [OKマークを 表示している]	<p>異常あり</p>  [マークが 表示される]
 [フィリップス社]	<p>正常状態</p>  [黒い砂時計マークが 点滅している]	<p>異常あり</p>  [赤い×マークが 点灯又は点滅している]	 [フィリップス社]	<p>正常状態</p>  [ランプ(緑)が 点滅している]	<p>異常あり</p>  [ランプ(緑)が 消灯している]



消耗品（電極パッド・バッテリー）使用期限の確認

AED の消耗品は使用期限があります。使用期限を過ぎたものは正常に動作しません。例えば、使用期限を過ぎた電極パッドは機能が劣化して粘着力が低下し、電気が流れにくくなるため、やけどするリスクがあります。いつでも使用できるように、バッテリー等、消耗品の使用期限を把握し、使用期限は到来したら交換することが大切です。

(例)



電極パッド使用期限は 2017 年 9 月までです。



バッテリー使用期限は 2020 年 1 月～2024 年 1 月で約 4 年間です。

- ① 点検日付
- ② 消耗品の交換日付
- ③ インジケータ確認
- ④ バッテリー使用期限
- ⑤ パッド使用期限 等...

(例) 日常点検リスト

AED 日常点検チェックリスト

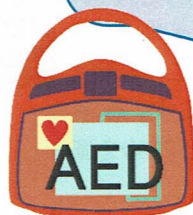
項目	点検日	交換日	インジケータ	電池	電極パッド
インジケータの確認 (点検して記入)					
1	19	1	19	1	19
2	19	1	19	1	19
3	19	1	19	1	19
4	19	1	19	1	19
5	19	1	19	1	19
6	19	1	19	1	19
7	19	1	19	1	19
8	19	1	19	1	19
9	19	1	19	1	19
10	19	1	19	1	19
11	19	1	19	1	19
12	19	1	19	1	19
13	19	1	19	1	19
14	19	1	19	1	19
15	19	1	19	1	19
16	19	1	19	1	19
17	19	1	19	1	19
18	19	1	19	1	19
19	19	1	19	1	19
20	19	1	19	1	19



消耗品の期限管理

AED の各 부품の使用期限を管理し、期限切れを発生させないため、消耗品の使用期限あるいは交換期限がわかるように記録しておきましょう。また、部品を交換した場合には、取り換えた部品の使用期限を記録しておきましょう。

※レンタルの場合、消耗品等の交換はレンタル会社が定期的に行います。





コムワンだよりからのお役立ち情報

これからは年間で最も台風の発生数が多くなる季節になります。台風によって地下駐車場内が冠水するなど、重大な被害に遭う可能性もあります。被害を最小限にするためにも、早めの対策を立てていきましょう。

共用部分での事前準備

機械式駐車場等の排水ポンプ点検・釜場清掃

排水ポンプが枯葉や砂などのゴミで詰まったり、経年劣化等でポンプが故障していると、台風や大雨など いざというときにポンプが機能せず排水されません。地下の機械式駐車場は冠水、車両水没のリスクに直結します。

排水ポンプが適正に稼働するか、定期点検が重要です。また、機械式駐車場では日常的に砂や泥、車のオイルなどが排水ピットに入りやすいため、排水ポンプの稼働に支障をきたさないよう「排水ピットの清掃」をお勧めしております。



屋上排水口の清掃

屋上の排水口に枯葉などのゴミが詰まった場合、屋上に雨水がたまっていきます。屋上防水が劣化していると、徐々に建物内へ水が浸みていき、室内まで漏水することがあります。



出典: <http://blog.livedoor.jp/>

出典: <http://setsubinoblog.seesaa.net/>

土嚢や止水板の用意

マンションが周りの土地より低い場所にある場合、建物内へ浸水のリスクがあります。多量の浸水となれば、設備故障や汚損など、建物への影響も少なくありません。少しでも浸水してくる水量を減らせるように土嚢の準備や、誰が配置するか役割を決めておくなど、事前に対策を立てておきましょう。止水板の設置(右の写真)も効果的です。



個人での事前対策

自転車の転倒防止

自転車が暴風によって横転することがあります。フレームが歪んだり、ほかの自転車を傷つけたりするようなトラブルが考えられます。自転車が倒れないように、きちんとスタンドのロック装置がかかっていることを確認するなど、事前に対策することが必要です。



ベランダの排水口

ベランダの排水口が詰まっていると、水がうまく流れません。大雨の際にベランダに水が溜まり、室内への浸水や階下への漏水につながる可能性があります。日常的に側溝や排水口周りのゴミを掃除しておきましょう。

物干し竿等の落下注意

ベランダに物が置いてあると、暴風によって飛ばされるおそれがあります。物が落下すると、他人を傷つけるおそれがあるだけでなく、窓ガラスや、隣の部屋との境に設置されている隔て板が割れる原因にもなります。台風が来る前に、物干し竿などの物を室内に移動させておきましょう。



駐車場の浸水

地下へ降下するタイプの機械式駐車場や低地にある駐車場は、台風や大雨のとき、ポンプの排水量よりも流入する水量が上回り、車両水没の危険があります。天気予報や災害情報を事前にチェックし、車を安全な場所へ移動しておくことをおすすめします。

